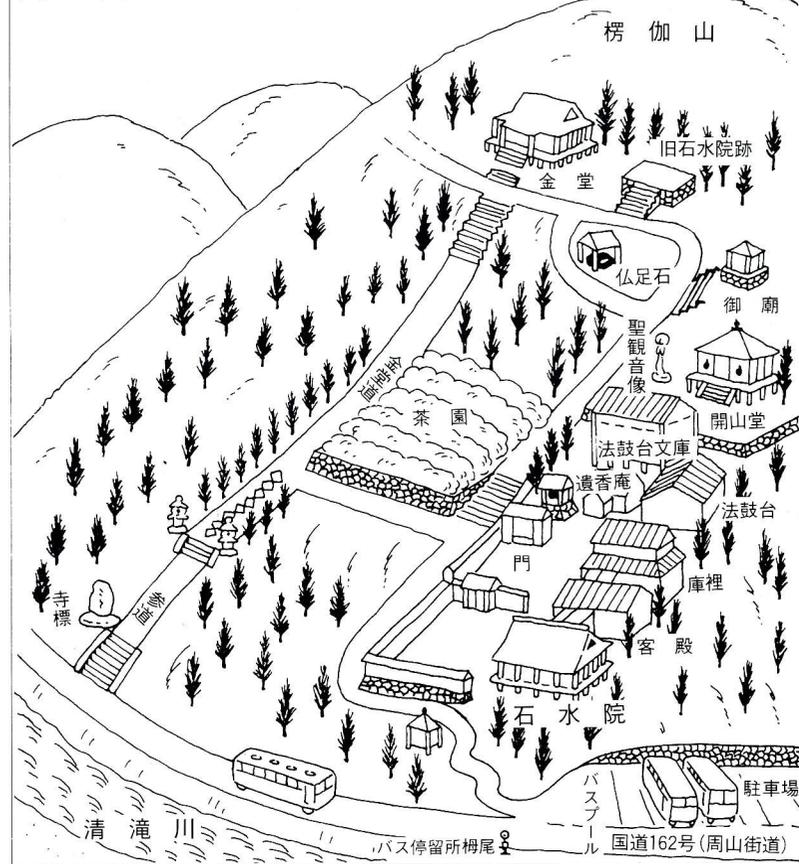


とがのをさん
 梅尾山

高山寺

高山寺境内略図



交通ご案内

JRバス線 京都駅から梅尾高山寺まで約50分
 四条大宮 〃 約40分

高山寺 京都市右京区梅ヶ畑梅尾町8 TEL075-861-4204

印刷 (株)便利堂

紀州有田郡吉原に生まれ、父は平重国で高倉院の武者所、母は豪族湯浅権守藤原宗重の四女である。八才の時母は病死し、父も頼朝との戦いで戦死して孤児となり、九才の時文覚上人及び叔父上覚上人を頼って高尾山神護寺に入り、仏道修業に努め、さらに東大寺や建仁寺にも学び、華嚴・真言・律・禪等の奥義を体得し、東大寺において学頭として華嚴学を講じられたこともあった。上人は限られた宗派や教説にとらわれないことなく、ひたすら本師釈迦牟尼世尊に随順し、その教えのままに生き、清純無私な無私の行者、真の仏弟子として生涯を貫かれたのである。世俗面においても、上人は北条泰時に政治の肝要として無欲を教え、承久の乱の公家方未亡人に、善妙尼寺を造って教化救済をされた。建礼門院が上人によって受戒されたことなどは有名である。遺訓に「阿留^{あろ}辺^{へん}幾^よ夜^や和^わ」の七字があるが、これは人間日常の簡短にして深奥なる教えである。

石水院

国宝。明恵上人が後鳥羽院より学問所として賜った建物で、上人時代の唯一の遺構である。金堂の東の位置にあったものを、明治二十二年現在地に移した。簡素な中に優雅さを保ち、きわめて機能的な構造をもっており、生活の知恵の結晶ともいえる住宅建築の傑作である。「阿留^{あろ}辺^{へん}幾^よ夜^や和^わ」の厳しくも合理的な精神が今もなおうかがわれる。南面長押の上に後鳥羽院の勅額「日出先照高山之寺」、西面に鉄斎の額「石水院」が掛けてある。



石水院内部

国宝および重要文化財

当山は古くから文化財の宝庫といわれ、鎌倉時代を中心として国宝・重要文化財は一万点余にもおよぶ。著名なものを次に掲げる。

建築―石水院（国宝、鎌倉時代）

彫刻―薬師如来坐像（奈良時代乾漆仏）、明恵上人坐像、白光神像、善妙神像、神鹿一对、狗兎、狛犬四対

絵画―仏眼仏母像（国宝、鎌倉時代）、明恵上人樹上坐禅像（国宝、鎌倉時代）、鳥獣人物戯画四卷（国宝、鎌倉時代）、華嚴宗祖師絵伝六卷（国

宝、鎌倉時代）、將軍塚絵巻一卷

その他、古経典、古文書、墨蹟、器物、版本などの優品が現存している。

茶の本園

古くから明恵上人は茶祖、栴尾山は茶の発祥地といわれている。鎌倉初期、栄西禪師が宋に渡り養生の仙薬、延命の妙術としてこれを広めようと茶種を持って帰国しこれを明恵上人に贈られた。上人は、栴尾の深瀬二本木にこれを植え、宇治（跡影園）その他の地にも広く移し植えられた。鎌倉時代、室町時代を通じて栴尾は茶の本園、その茶は本茶といわれ、天皇への献茶も毎年行なわれた。宇治の茶葉家は古くから毎年自家製の新茶を上人の廟前に献供（十一月八日）するのを例として今日に至っている。いわゆるモデル茶園として、宇治の篤志家により栴尾茶園の維持管理がなされている。



国宝 鳥獣人物戯画